

自然免疫制御技術研究組合（略称：自然免疫）の概要

- 設立年月日：平成22年3月8日
- 理事長：柚 源一郎（（有）バイオメディカルリサーチグループ 代表取締役）
- 組合員：（9企業4団体3個人）※各法人の数を記載
（有）バイオメディカルリサーチグループ、自然免疫応用技研（株）、（株）東洋発酵、（有）タカ企画、小豆島ヘルシーランド（株）、（株）ベンチャーラボインベストメント、（株）スケアクロウ、栄新薬（株）、東洋開発（株）（一財）四国産業・技術振興センター、（社医）喜悦会、（NPO）環瀬戸内自然免疫ネットワーク、服部義則、稲川裕之、船山雅史
- 事業費：平成28年度0.3億円
- 事業の概要：自然免疫を制御する糖脂質解析・合成・利用技術の研究開発。

○組合設立の目的

組合員の協働による自然免疫を制御する糖脂質解析・合成・利用技術の開発に関する試験研究及びその他組合員の技術水準の向上並びに実用化を図るための事業を行うことを目的とする。

○実用化の方向性

適切な糖脂質の種類（構造、特に糖鎖）を選択し、量・期間・投与方法を制御することにより健康増進や維持を可能とする食品・スキンケア製品を開発する。最終的には予防医療に資する糖脂質医薬群を創出する。シンポジウム等の開催を通し、自然免疫制御による健康増進・維持に関する正しい知識を消費者に提供する。

○事業化の目途の時期

新規糖脂質素材の製品化については、平成26年に達成、糖脂質創薬は平成31年までに基盤技術の確立を目指す。



● 研究開発体制

